

校名 **谷本高等学校** **令和7年度(2学年用)** **教科** **国語** **科目** **論理国語**
教 科: 国語 **科 目:** 論理国語 **単位数:** 2 **単 位**
対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 8 組
教科担当者: (1組: 澤本) (2組: 田中) (3組: 澤本) (4組: 田中) (5組: 田中) (6組: 澤本)
(7組: 伊東) (8組: 伊東)
使用教科書: (論理国語 筑摩書房)

科目 論理国語		の 目標:		
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
実社会に必要な知識や国語や技芸を身に付けるようにする。		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者と関わりの中で考え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができ、自分の思いや考えを伝えることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生活にわたって言葉に親しみ自己を高めるとさせ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者と社会に「関わり合う」態度を養う。	

[illegible]

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学B

教科 数学 科目 数学B

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 5-6 組 7-8 組

教科担当者: (56組:五十里) (78組:五十里)

使用教科書: (数研出版 高等学校数学B)

教科 数学 科目 数学B

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を培う。

科目 数学B 科目 数学B

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測]についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的に論理に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数列と一般項	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数列の定義、表記について理解している。 【思考・判断・表現】 数の並び方からその規則性を推定して数列の一般項を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする。	○	○	○	4
	等差数列 等差数列の和 等比数列	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 等差数列の公差、一般項を理解している。 【思考・判断・表現】 隣接する項の関係を考察できる。等差数列の和を求める方法を工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 等差数列の和の公式を自ら導こうとする。	○	○	○	4
	定期考査 1			○	○	○	1
	等比数列の和 和の記号 階差数列	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 等比数列の和の公式を適切に利用して和を求めることができる。Σの計算ができる。階差数列を利用して一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 等比数列の和を求める方法を工夫できる。数列の和を記号で表して簡単に計算する方法を工夫する。数列の規則性を発見する。 【主体的に学習に取り組む態度】 複利計算に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。群衆に興味を持ち考察しようとする。具体的な事象の考察に漸化式を積極的に活用しようとする。	○	○	○	5
	いろいろな数列の和 漸化式	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 工夫をして和を求めることができる。漸化式から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 既知の漸化式に帰着させて複雑な漸化式を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象に漸化式を活用しようとする。	○	○	○	5
	定期考査 2			○	○	○	1
2 学 期	漸化式 数学的帰納法	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数学的帰納法を用いて命題を証明できる。 【思考・判断・表現】 数学的帰納法以外で、式の証明をについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな事象について、数学的帰納法で証明できるかどうかを試みようとする。	○	○	○	10
	問題 率未問題	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	数列について、3観点の総合力を養う。	○	○	○	4
	定期考査 3			○	○	○	1
	確率変数と確率分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解する。 【思考・判断・表現】 試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率分布について積極的に考察しようとする。	○	○	○	5
3 学 期	確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 二項分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴を考察することができる。 確率変数の和の期待値を、複雑な場合に適用する。 【主体的に学習に取り組む態度】 期待値、分散に関する公式を、既知の公式を用いて導こうとする。 確率変数の独立について注意を向けようとする。	○	○	○	8
	定期考査 4			○	○	○	1
	確率変数の和と積 二項分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 独立な確率変数の積の期待値を求めることができる。 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二項分布のグラフに関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	8
	正規分布 統計的な推測	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。母集団と標本、標本平均について理解し、仮説検定ができるようにする。	【知識・技能】 日常の身近な問題を統計処理するのに、正規分布を利用できる。 【思考・判断・表現】 正規分布を利用して現実のデータについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	17
	定期考査 5			○	○	○	1

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学C

教科 数学 科目 数学C 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 5組~ 8組

教科担当者: (5,6組:吉開) (7組:吉開) (8組:吉開)

使用教科書: (数研出版 高等学校数学C)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。

科目 数学C の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、複素数平面と平面上の曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
1 学期	ベクトル ベクトルの演算	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示と演算ができるようにする。	【知識・技能】 ベクトルの定義や表し方を理解している。 ベクトルの演算ができる。 【思考・判断・表現】 ベクトルの定義を理解し、図示できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルの演算に興味を持ち、数式の演算との類似点を考察しようとする。	○	○	○	6
	ベクトルの成分 ベクトルの内積	ベクトルの内積とベクトルのなす角について考察できるようにする。	【知識・技能】 ベクトルの成分計算と内積の計算ができる。 【思考・判断・表現】 平行条件と垂直条件を活用して、等式の証明や図形の問題に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の量をベクトルを用いて表現しようとする。内積の性質を既習の知識を用いて証明しようとする。	○	○	○	6
	定期考査1			○	○	○	1
	位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示	位置ベクトルについて理解し、図形の性質を調べるのに活用できるようにする。図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めることができる。	【知識・技能】 位置ベクトルの意味を理解し、内分点、外分点の位置ベクトル、3点が一直線上にあることを証明できる。 直線や円のベクトル表示ができる。 【思考・判断・表現】 位置ベクトルを活用して図形の性質が考察できる。 点Pの存在範囲を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。	○	○	○	6
	空間の点とベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。座標空間における点や図形について考察できるようにする。	【知識・技能】 点と点の距離、ベクトルの和と差、成分の計算ができる。 内積の計算ができる。ベクトルのなす角を求めることができる。 【思考・判断・表現】 空間のベクトルが3つのベクトルの線形和で一通りに表される理由について説明できる。 ベクトルの垂直条件が活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面上のベクトルの性質が空間でも成り立つことに興味をもつ。ベクトルの定義が次元によらないことに興味をもつ。	○	○	○	7
	定期考査2			○	○	○	1
2 学期	ベクトルの図形への応用 座標空間における図形	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。座標空間における点や図形について考察できるようにする。	【知識・技能】 位置ベクトルの定義や内分点・外分点、重心などの位置ベクトルを理解している。球面の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 4点が同一平面上にある条件や一直線上にある条件について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間図形の考察にベクトルを活用しようとする。	○	○	○	8
	問題 章末問題	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。座標空間における点や図形について考察できるようにする。	【知識・技能】 基本問題について技能の習熟を図る。 【思考・判断・表現】 図形の問題にベクトルの考えを活用しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルの総合的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	7
	定期考査3			○	○	○	1
	複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。	【知識・技能】 複素数の絶対値、実数倍、和、積、商、共役複素数の性質、極形式、ド・モアブルの定理について理解している。 【思考・判断・表現】 複素数の図形的な意味について考察しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ド・モアブルの定理を自ら導こうとする。	○	○	○	12
3 学期	定期考査4			○	○	○	1
	放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質	2次曲線の定義や性質を理解し、問題の解決に活用できるようにする。		○	○	○	7
	曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式		【知識・技能】 複素数の方程式について、意味を考えたり計算などをして表す図形を求めることができる。 【思考・判断・表現】 点zと運動して動く点wが描く図形について考察したり説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の問題を、複素数の演算の図形的な意味を用いて積極的に考察しようとする。	○	○	○	6
3 学期	定期考査5			○	○	○	1

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：

1

単位

対象学年組：第2学年 1組～ 8組

教科担当者：(1組：遠藤)

(2組：遠藤)

(3組：大山)

(4組：関元・上島)

(5組：遠藤)

(6組：関元・上島)

(7組：遠藤)

(8組：大山)

使用教科書：()

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

【学びに向かう力、人間性等】

運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら健康やスポーツに関して課題を発見し、その解決を図る主体的かつ協働的な学習を進めることを学ばせる。	・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠、出産と健康 ・家族計画 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら健康やスポーツに関して課題を発見し、その解決を図る主体的かつ協働的な学習を進めることを学ばせる。	・高齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み ・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら健康やスポーツに関して課題を発見し、その解決を図る主体的かつ協働的な学習を進めることを学ばせる。	・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 ・一人1台端末の活用		○	○	○	
	定期考査			○	○		1
3 学 期	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら健康やスポーツに関して課題を発見し、その解決を図る主体的かつ協働的な学習を進めることを学ばせる。	・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み ・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	【知識・技能】 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。 ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 27

芸術 科目 音楽Ⅱ

单位数： 2 单位

教科担当者： 神山耕平

教科 芸術 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 互いの存在、表現を認め合い、高め合う力を育成する。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことが出来るようになる。	主體的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創							
1 学 期	歌唱	校歌 カーロミオペン	○				【知識・技能】 きちんとした発声を意識しているか。 【思考・判断・表現】 曲想に合った音色で歌っているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主體的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4	
	クラッピング リズム聴音	クラッピングカルテット		○	○	○	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技術を身に付け、表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、テクニクス、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と手拍子や足踏み、音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主體的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
2 学 期	ギター弾き語り	日曜日よりの使者 夢の中へ	○	○	○		【知識・技能】 創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、楽器で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、旋律、テクニクス、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音色や奏法との関わりに関心をもち、主體的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
	鑑賞	オペラ座の怪人	○			○	【知識・技能】 音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主體的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5	
3 学 期	合唱	旅立ちの日	○			○	【知識・技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱の表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、速度、旋律、テクニクス、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱による表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主體的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5	
											合 計	34

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ					
教科：芸術	科目：美術Ⅱ	単位数：	単位		
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組					
教科担当者：（1組：野田 ）（2組：野田 ）（3組：野田 ）（4組：野田 ）（5組野田 ）（6組：野田 ）（7組：野田 ）（8組：野田 ）					
使用教科書：（光村図書 美術Ⅱ ）					
教科 芸術	の目標： 【知識及び技能】意図に基づいて表現するための技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度；				
科目 美術Ⅱ	の目標： 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「身近なものを描こう」 【知識及び技能】 身近なものを描くことに関心をもち、身近なものを見つめ感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどから主題を生成する 【思考力、判断力、表現力等】 主題と共に、形や色、用具の使い方などの構想を練る 【学びに向かう力、人間性等】 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る	・ガラスコップ、水、カトラリーによる基礎練習 ・具体的な用具の使用方法 ・4B～2B鉛筆 ・八つ切りM画用紙 ・練りゴム ・カッターナイフ ・一人1台端末の活用 等	【思考力、判断力、表現力】 身近なものを見つめ、そこから主題を生成し、自ら材料や用具の特性などについて考えている 【主体的に学びに向かう態度】 主体的に身近なものを見つめ、感じ取ったものの特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている				
	A 選択課題「人物を描く」 【知識及び技能】 形や色などが感情にもたらす効果や、創造的な特徴などをもとに、人物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 身近な人物を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などからについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学びに取り組む態度】 主体的に身近な人物を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・F10号キャンパス ・鉛筆	【知識及び技能】 形や色などが感情にもたらす効果や、創造的な特徴などをもとに、人物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 身近な人物を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などからについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学びに取り組む態度】 主体的に身近な人物を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				
	A 単元「人物を描く」 【知識及び技能】 形や色などが感情にもたらす効果や、創造的な特徴などをもとに、人物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 身近な人物を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などからについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学びに取り組む態度】 主体的に身近な人物を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・F10号キャンパス ・アクリル絵の具 ・イーゼル	【知識及び技能】 形や色などが感情にもたらす効果や、創造的な特徴などをもとに、人物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 身近な人物を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などからについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学びに取り組む態度】 主体的に身近な人物を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				
2 学 期	A 単元「動きのある人体を中小の彫刻で表現しよう」 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人の形をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることと理解している。 【思考・判断・表現】 人の形を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、抽象化、材料の質感や量感を生かした表現について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に人の形を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・スタイロフォーム ・スチロールカッター ・石粉粘土 ・紙やすり ・台座用木材 ・アクリル絵の具	A 単元「動きのある人体を中小の彫刻で表現しよう」 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人の形をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることと理解している。 【思考・判断・表現】 人の形を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、抽象化、材料の質感や量感を生かした表現について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に人の形を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				
	A 単元「動きのある人体を中小の彫刻で表現しよう」 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人の形をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることと理解している。 【思考・判断・表現】 人の形を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、抽象化、材料の質感や量感を生かした表現について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に人の形を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・スタイロフォーム ・スチロールカッター ・石粉粘土 ・紙やすり ・台座用木材 ・アクリル絵の具	A 単元「動きのある人体を中小の彫刻で表現しよう」 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人の形をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることと理解している。 【思考・判断・表現】 人の形を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、抽象化、材料の質感や量感を生かした表現について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に人の形を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				
3 学 期	A 単元「動きのある人体を中小の彫刻で表現しよう」 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人の形をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることと理解している。 【思考・判断・表現】 人の形を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、抽象化、材料の質感や量感を生かした表現について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に人の形を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・スタイロフォーム ・スチロールカッター ・石粉粘土 ・紙やすり ・台座用木材 ・アクリル絵の具	A 単元「動きのある人体を中小の彫刻で表現しよう」 【知識・技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人の形をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることと理解している。 【思考・判断・表現】 人の形を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、抽象化、材料の質感や量感を生かした表現について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に人の形を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。				
							合計
							50

科目 書道Ⅱ

单位数： 2 单位

(7組：) (8組：)

【学びに向かう力、人間性等】 生活の中での書の位置づけや、書を身近なものとして認識できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	【創作】 江戸展に出品する作品制作	江戸から連想する言葉を選びその言葉にあった作風で制作する						○	○	○	4
	【創作】 国際美術展に出品する作品制作	教科書の好きな古典を選び忠実に臨書する									4
	【臨書】泰山刻石の臨書 石鼓文の臨書	篆書の成り立ちと基本用筆、字形の特徴を他の書体と比べながら理解する 書を比べながら理解する									4
	【篆刻】 姓名印の制作 名入れをする	自分の名前の篆書体を知る 鏡で正しく名入れ出来たか確認する									6
2 学 期	運刀 押印する 1 cm角の印の名入れ 運刀、押印	書いた線の上をはみ出さないように運刀する 美しい陰影になるよう注意を払う 何をほろか決め名入れする 朱文の為文字を削らないように注意する									12
	【隷書】 年賀状の制作	隷書の基本用筆を理解する ハガキの基本的な書き方を覚える									12
3 学 期	【草書】 十七帖の臨書 書譜の臨書 【仮名】 高野切第一種の臨書 仮名の清書	草書の成り立ちと特徴を学ぶ 半紙に4文字をバランス良く配置する 墨の濃度、潤渇に注意して原寸大に臨書する 料紙に書く									6
	自由作品	半切二分の一に自分の好きなように作品を制作する									6
											合 計
											54

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教 科：外國語	科 目：論理・表現Ⅱ	單位數：2	單位
---------	------------	-------	----

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：(1組：吉野) (2組：吉野) (3組：大平) (4組：岸波) (5組：岸波) (6組：大平)

德國的利器：EACTBOOK English Logic and Expression 1 - 2 EACTBOOK English Logic and Expression Workbook Essential 1 - 2

使用教科書：
教科 外國語

の日程

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

[illegible]

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎			
教科： 家庭	科目： 家庭基礎	単位数： 2	単位
対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組			
教科担当者： （1組：新倉・内藤）（2組：新倉・内藤）（3組：新倉・内藤）（4組：新倉・内藤）（5組：新倉・内藤）（6組：新倉・内藤）（7組：新倉・内藤）（8組：新倉・内藤）			
使用教科書： （家庭基礎 気づく力 築く未来 ）			
教科 家庭 の目標：			
【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を深めるとともに、それらにかかわる技術を身につけるようとする。			
【思考力、判断力、表現力等】 家族や地域及び社会における生活の中から課題を発見し、課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。			

科目 家庭基礎 の目標：			
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、理解を深めるとともに、それらにかかわる技術を身につけるようとする。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から課題を発見し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を計画・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造し、実践しようとしている。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元：日本の食文化の形成 【知識及び技能】 ・様々な郷土料理や行事食があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の食文化と気候風土の関係を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分や家族の食生活について意識的に改善する。	・日本や世界の食文化を通して各目的の食生活の問題点に気づく。 ・世界の発酵食品の特徴を学ぶ。 ・物産の世界文化遺産について知り、外国からの評価を学ぶ。 等 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 【思考・判断・表現】 ・自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決の方向性を探り、解決に向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意識的に改善・向上に努めようとする。	○	○	○	2
	B 単元：食品の選び方と安全 【知識及び技能】 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調理実習において、班員と協力して取り組む。	・食中毒に対する予防法を理解する。 ・家庭用教材「食中毒を防ごう」・指導書・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・食中毒の種類や予防法をとらえることで、安全な食品や調理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・調理施設や自宅でのキッチンなど予防法を具体的に考え、取り組むことができる。	○	○		2
	C 単元：食事の計画と調理 【知識及び技能】 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調理実習において、班員と協力して取り組む。	・調理実習（炊飯）（厚生献立） ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・現在の家族・家庭の在り方や役割について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結婚、家族・家庭の形、役割について、自	○	○	○	4
	D 単元：共に生きる家族 【知識及び技能】 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族が抱える問題を捉え、家族を支える仕組みについて具体的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・話し合いを通して互いを理解し合う。	・「家族」の条件とは何かを考える。 ・話し合うで家族の条件や結婚について話し合いをする。	【知識・技能】 ・結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・現在の家族・家庭の在り方や役割について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結婚、家族・家庭の形、役割について、自分とどのような関わっているのか興味・関心を持つようとする。	○	○	○	4
	E 単元：家族に関する法律 【知識及び技能】 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族・家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解する。	・家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 ・選択的夫婦別姓制度についてグループで話し合う。	【知識・技能】 ・家族に関する法律についての知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族・家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。	○		○	2
2 学 期	F 単元：子どもとは 【学びに向かう力、人間性等】 ・育児を学ぶ意義について理解する。	・次世代を担う子どもを育て、育んでいくことの責任感を養う。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの世界について、自分の子どものことを思い出しながら興味・関心を持ち、子どもの生活について積極的に子どもと関わりながら理解しようとする。			○	2
	定期考査			○	○		1
	A 単元：栄養と食品のかかり 【知識及び技能】 ・栄養素の種類と働きとそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素・食品、バランスの良い食生活について考える。	【知識・技能】 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って知識を深めようとしている。	○		○	6
	B 単元：これからの食生活を考える 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の食料自給率を解決するためにできることを見つめる。	・日本の食料自給率の現状と課題について考える。	【思考・判断・表現】 ・現在の日本の食生活についての課題を理解し、解決の方法について考えをまとめることができる。		○		2
	C 単元：子どもの発達 【知識及び技能】 ・子どもの誕生、心身の発達と特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもは親や身近な大人とのかわりあいの中で発達していることを理解する。	・子どもの発達について考える。 ・子どものからの成長の様子を学ぶ。	【知識・技能】 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・発育の子どもを取り巻く環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。	○	○		4
3 学 期	D 単元：子どもの生活 【知識及び技能】 ・子どもの食生活、衣生活、遊びについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの食生活、衣生活、遊びについて学び、子どもに興味・関心を持つ。	・子どもの発達を振り返るとともに、食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもと関わるようにする。	【知識・技能】 ・子どもの楽しみ方、子どもの衣食住に関わる物づくりなどの技術を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どものためのおもちや作りや、絵本の読み聞かせなどの実践活動に積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持つようとしている。	○		○	4
	E 単元：子どもははぐくむ 【知識及び技能】 ・子どもを生み、育てる意義について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・親子関係の問題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・親子関係に関する新聞記事などを読み、現代の親子にかかわる課題と解決の方向性を探る。	【知識・技能】 ・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもを取り巻く状況について、現状を知り、解決に向けて考えようとしている。	○		○	4
	定期考査			○	○		1
	A 単元：衣服の選択と管理まで 【知識及び技能】 ・衣服や小物の製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・基礎縫いを学び実践することで、物づくりに興味・関心を持つことができる。	・手縫いでペンケースを製作する。	【知識・技能】 ・基礎縫いなどの縫製技術を身につけて、日常生活などの管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ペンケース製作に積極的に取り組もうとする。	○		○	4
	B 単元：衣服の選択と管理まで 【知識及び技能】 ・衣服表示の種類と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・洗濯・漂白剤・防虫剤などの機能について理解し、衣服の機能に応じた適切な選択や保管ができる。	・衣服の適切な洗濯方法から保管などについて学び、自らの生活で実践する。	【知識・技能】 ・衣服材料の性能と特徴、衣服整理の科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。 【思考・判断・表現】 ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活の衣服管理において、適切な判断ができる。	○	○		2
3 学 期	C 単元：消費行動と意思決定 【知識及び技能】 ・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	・主体的な消費行動について、多角的に考える。	【知識・技能】 ・消費行動について、様々な情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 【思考・判断・表現】 ・消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。	○	○		4
	D 単元：消費生活の現状と課題 【知識及び技能】 ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題解決の改善にあった場合の解決方向を理解する。	・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題解決の方法を未然に防止し、早期解決する方法を考える。	【知識・技能】 ・消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。	○	○		2
定期考査				○	○		1
							合計
							49